

普及活動情勢報告（令和元年 10 月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

「生産予測システム」の精度向上にむけて ～開花数・着果数調査～



開花数が増えてますね！

高知県では、I o P（Internet of Plants）が導く「Next次世代型施設園芸事業」の推進に取り組んでいます。

その一環として、本年3月から運用を開始した「高知県園芸品生産予測システム」の精度向上を目的に、気象データや過去の出荷量に加えて生育データを反映させるため、農業改良普及課では週に1度、ナスやピーマンの着果数・開花数を調査しています。

調査結果は生産者と共有し栽培指導にも活用するほか、管内の生育概況をつかむためにも役立てています。

普及課では、今後も調査に取り組み、生産予測システムの精度向上と調査データを活用した栽培指導に努めます。

地道な調査に勝るものなし!! ～芸西支部花き部での取り組み～



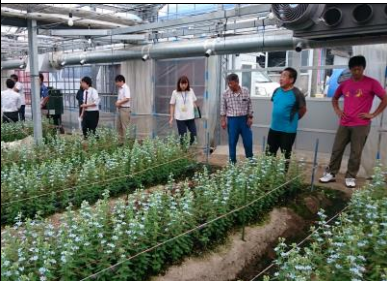
粘着シートで
ベタベタになりながら
張り替え作業をする
普及員と営農指導員

農業改良普及課は、JAと協力してトルコギキョウでのタイベック製防虫ネットの防虫効果やオキシペタラムでの追肥量の検討を行っています。

タイベック製防虫ネットの防虫効果は、屋外の発生が多い場合でも飛び込み数は少ない傾向であり、花き部員でも徐々に導入する動きが出てきています。これまで農家の感覚で判断していたオキシペタラムの追肥は、毎月全戸で土壌内のpHやECを確認しながら適正量になるよう指導しています。

農業改良普及課は、今後もJAと協力して、地道な調査で得られたデータに基づいた指導で、花き産地の生産強化を図ります。

オキシペタラムの出荷がスタートしました!! ～ブルースター部会現地検討会～



管理が行き届いてるね～

10月1日、芸西支部のブルースター部会が、現地検討会を開催し、生産者8人が参加しました。

農業改良普及課からは、8～10月の屋外におけるアザミウマ類の発生状況と毎月の土壌診断結果について説明しました。また、現地では、生育の状況や害虫の発生状況を確認しました。

生産者からは「屋外で増えてきてるなら注意しよう」、「引き続き土壌診断をお願いしたい」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携して、栽培管理の適正化を図り、収量・品質の向上による産地の強化を進めます。

害虫と天敵について学ぼう！ ～第4回農業基礎研修講座～



害虫の種類について
説明する普及指導員

農業改良普及課では就農5年目までの新規就農者等を対象に、農業の基礎的な栽培管理についての講座を開催しています。

10月10日、JA高知県安芸地区奈半利支所で第4回農業基礎研修講座を開催し、新規就農者等16名が参加しました。今回は「害虫と天敵について」をテーマに講義を行い、奈半利町のナスほ場で現地視察を行いました。

参加者からは「害虫対策が理解できた」、「様々な天敵の種類を知ることができた」という意見が聞かれ、講座後のアンケート結果でも満足度5点満点中4.5点となりました。

農業改良普及課は、今後も毎月基礎研修講座を開催し、新規就農者の栽培技術向上につながるよう支援します。

令和2園芸年度の収穫が始まりました ～安芸支部園芸部園芸研究会ナス部会営農相談日～



収穫の年内ピークが
来たぞね～

農業改良普及課とJA営農指導課は、安芸支部園芸部園芸研究会ナス部会を対象に、出荷に訪れた生産者に対して毎月1回、営農相談を開催しています。

10月の営農相談では11月に向けたナスの栽培管理や農薬の登録拡大情報について周知しました。今作については定植直後から気温も高く推移し、天候にも恵まれた影響から収穫のピークが続いている生産者が多かったです。

生産者からは「収穫で忙しいが炭酸ガス施用や加温の準備を遅れないようにして冬場も収量を取りたい」といった前向きな声がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力し、生産者の収量アップに努めます。

JICA主催「農業普及企画管理者」研修が安芸市で開催されました。



天敵のバンカープランツに
興味津々です♪

10月17日、安芸市においてJICA主催「農業普及企画管理者」研修が開催されました。当研修は開発途上国の普及組織の整備や普及職員の人的能力強化を目的に、10月2日から11月2日までの1ヶ月、茨城県や千葉県、高知県で普及事業に係る様々な内容で研修されています。

農業改良普及課では、「安芸市の新規就農者の確保・育成」について紹介し、サポートハウスで実際の栽培も見てもらいました。

アフガニスタン、ミャンマー、ザンビア等の9カ国、11人の参加者は、安芸市の新規就農者に対するトータルサポートの仕組みに感心した様子で、サポートハウス利用者に対しては、「ハウスはいつ建設するのか、その資金はどうするのか？」や「なぜ、安芸市だったのか？」など、熱心に質問されていました。

研修終了後、「大変わかりやすく、理解できた」という声あり、研修内容について、高評価をいただきました。